



日本共産党市議会議員団

おぜき栄子
鳥井やすこ

にこっと通信

無料法律相談会毎月第1火曜日 おぜき栄子・鳥井やすこ事務所

相談される方は事前に事務所へ連絡して下さい。

第145号

2021年8月20日(金)

足利市田中町789
第3石川ビル3階

TEL(72)7848

FAX(71)8392

TEL090-8004-0577 TEL090-1690-5106

おぜき栄子・鳥井やすこの議案賛否

議案	内容	おぜき	鳥井
第44号	令和3年度一般会計補正予算(第1号)	○	○
第45号	監査委員の選任	○	○
第46号	令和3年度一般会計補正予算(第2号)	×	×
第47号	職員のサービスの宣誓に関する条例の改正	○	○
第48号	固定資産評価審査委員会条例の改正	○	○
第49号	介護保険条例等の改正	○	○
第50号	国民健康保険条例等の改正	○	○
第51号	地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の改正	○	○
第52号	まちづくり応援基金条例の制定	○	○
第53号	松田川ダムふれあい広場条例の改正	×	×
第54号	市有財産の無償譲渡について	○	○
第55号	足利市運動場条例の改正	×	×

会期は、6月4日から6月28日でした。

主な議案

- ①介護保険条例の改正
- ②国民健康保険条例の改正
- ③松田川ダムふれあい広場条例の改正
- ④市有財産の無償譲渡について

日本共産党市議団は下記の3つの議案に下記の理由で反対しました。

(討論の要旨は、下記の通り)

六月議会報告

市負担の多い開発より、
市民・市内業者へ直接支援のコロナ対策を！

議案第46号・一般会計補正予算は、春日市営住宅跡地の売り払い代収入5820万円(評価額の48%)を見込み、春日市営住宅跡地住宅団地開発整備事業(周辺道路整備)を債務負担行為として、令和4年度～5年度にかけて、1億600万円余を計上するものです。これは、水道管などの埋設物のある春日団地跡地を公募により売却し、公募資格のあるハウスメーカーまたは、

不動産業者が戸建て住宅を造成し、売却する。足利市は、その住宅団地周辺の道路を整備するというものです。土地を売却するにあたり、初めから市の負担が多い開発を進める必要があるのでしょうか。現在は民間主導で住宅地の整備は行われています。今やるべきことは、コロナ禍で苦しむ市民や市内業者への市独自の直接支援を急いで進めることです。

使用料の引き上げより、 利用者、団体の利用増を！

議案第55号、運動場条例の改正は、足利市総合運動場軟式野球場のグラウンド全面改修、ダッグアウト改修、バックネット改修、防球フェンス改修などの工事が完了し、大規模改修の一部を受益者負担の観点から、軟式野球場の使用料を1時間330円(一面あたり)を495円に引き上げるものです。誰もが気軽に使えるスポーツ施設を目指し、利用料金の適正化、利用者、クラブ、団体が利用しやすい条件整備が必要ではないでしょうか。軟式野球場の利用団体は、減少しているとのこと。今、軟式野球場の使用料の引き上げではなく、個人・団体の利用者を増やすことが重要ではないでしょうか。

足利市内唯一の姥川排水機場を視察



コロナ禍の中で身近なお困りごとなど
お気軽に声をおかけください。

連絡先・日本共産党市議団
おぜき栄子 090-8004-0577
鳥井やすこ 090-1690-5106

「松田川ふれあい広場」は、利用者・管理者の
双方の立場でメリットのある条例改正を！

議案第53号 松田川ダムふれあい広場条例の改正は、管理に直接あたってきた方々への配慮がないこと。これまで、この松田川ダムふれあい広場の管理は、地域の方達で構成された団体が担ってきた。この方達の今後の関わりが有るのかどうか、関わっていただけるとした場合の具体的な関わり方に言及がありません。

松田川ダムふれあい広場は、足利市内にありながら、日常生活から離れた大きな自然と触れ合うことができる公共施設です。公共施設の役割は営利目的ではない、徴収した税を市民の公共福祉に適切に使っていくことであることから考えても、今回の条例改正は検討が不足していると指摘せざるを得ません。利用者、管理を担当する方達、双方にとってメリットのある条例改正を求めます。

おぜき栄子の一般質問

**1. 市長の政治姿勢
子育て支援策**

①選挙公約の「高校生までの医療費窓口無料化」を！

おぜき：市長選挙の公約に掲げた高校3年生までの医療費窓口無料化はいつから始めるのか。

市長：経済的な財源が必要なことから、財源確保とバランスを取りながら、財源確保に努め、実現に向け取り組む。

**②収入のない子どもの
国保税の均等割廃止を
(34200円/人)**

おぜき：子育て支援策として国民健康保険税の子ども均等割をなくすためには、どのくらい必要(対象人数)か。

当局：18歳以下の子どもは2700人で全額免除した場合、6400万円余が必要。

おぜき：2022年4月から、就学前までの均等割りを公費で半額軽減することが決まっている。20億円を超えるため込んだ基金を使って、子どもの均等割りをなくす必要があるのではないか。

市長：全体的な税の制度は、国の判断。子育て世帯への支援策は幼児教育、保育の段階支援、放課後児童保育等の拡充などがある。総合力であらゆる政策を総動員しながら、子育て世帯の支援を取り組む。

**2. 公共施設のあり方
市民の財産を有効に
活用するために**

①利用料金の引き上げを可能にした「公募」は、経費節減に限界？

おぜき：公共施設は、直営で管理運営すべきと考えるが指定管理者制度による管理運営となっている利点は何か。

当局：市民ニーズへの効果的な対応、施設管理の効率化、経費節減など多くの利点があり、公共施設の重要な管理手法である。

おぜき：指定管理者をMBS財団が非公募で担うこと、松田川ふれあい広場を料金引き上げも可能な設定で、公募に切り替えたことは、経費節減に限界がきているのではないか。

**足利市の出生数
合計特殊出生率**

年	出生数	合計特殊出生率
2014年	1023	1.46
2015年	949	1.35
2016年	996	1.47
2017年	905	1.38
2018年	815	1.28
2019年	830	1.39
2020年	704	1.22

*合計特殊出生率
一人の女性が一生に産む子どもの人数



利用料金の変更

施設の名称	利用単位	改定後(基準額)	改定前(限度額)
バーベキュー場	1炉1回	1,056円	1,056円
オートキャンプ場	1区画1泊	4,700円	2,101円
湖畔キャンプ場	1区画1泊	2,610円	1,056円

鳥井やすこの一般質問

**1. 防災対策の
今後の方針**

①西宮林野火災

鳥井：西宮林野火災から3ヶ月が経過したが、時間が経過したことで明確になった問題はありますか。

当局：たまたま関係した部署から、情報を収集している。災害記録誌を作成し、のちの災害に備えたい。

鳥井：市長は自衛隊への要請が遅かった旨を市長選挙の中で主張していたが、このタイミングで行うべきと考えているか。

市長：青梅市の山林火災では確知から早いタイミングで要請していた。群馬県桐生市の25日の火災についても、確知から14分後に防災ヘリを要請していた。対策本部の設置、自衛隊へ要請、共に遅かったと認識している。

②水害対策

鳥井：令和元年東日本台風の教訓を踏まえ、水害対策について具体的に検討すべきタイミングであるが地域住民の意見をどのように反映していくのか。

当局：避難場所の確保についての意見を多く受けたことを踏まえ、民間施設の活用や自治会館等を活用して、独自の自主防災会の活動を支援している。避難情報の伝達については、各自治会の連絡網作成、情報伝達訓練の実施を行ってきた。

**2. 新型コロナウイルス
感染症対策について**

①ワクチン接種

鳥井：ワクチン接種会場への移動手段として75歳以上の高齢者世帯にタクシー券が送付されたが、それ以外の世帯に対してはどのような対応がとられているか。

当局：自宅と接種会場を往復するタクシー料金を全額助成している。18歳未満の自動車免許を持たない家族のみ同居している世帯にも、追加で利用券を送付した。また、近隣の方との乗り合い乗車を勧めたり、個人接種での対応を進めている。

②PCR検査体制

鳥井：本市や安足地域の陽性率はどのように変動しているか。

当局：栃木県の陽性率は4月当初4.2%であったが、5月上旬には4.0%、5月下旬から6月にかけては3.4%に減少している。しかし県版ステージ2.5であり、今後も警戒が必要である。

鳥井：ワクチン接種率が一定の水準に達するまでの間、PCR検査を徹底して行い、感染者の早期発見が必要だが、今後対策していく予定はあるか。

当局：高齢者施設には新規入所者のPCR検査を実施している。通所施設施設従事者には、抗原検査を実施している。

③学校行事

鳥井：6月中旬に予定されていた市立中学校の修学旅行が延期されたが、今後の実施について統一的な判断基準を設ける考えはあるか。

当局：京都奈良方面に実施していた修学旅行は延期している。修学旅行や宿泊を伴う学校行事の本市教育委員会の判断基準は、国・県の考え方を踏まえ、訪問先の感染状況・予防対策・学校の感染防止策、保護者の考え、参加する児童生徒の自覚等の観点から総合的に判断している。現地の教育委員会に現地状況を聞く、宿泊先の感染防止体制を確認する、等の取り組みも行なっている。修学旅行は、生徒にとって貴重な学びの場である。しかし、コロナ禍において自分や大切な人を守るため、参加への不安や悩みを抱えている子どももいると考えられる。子どもや保護者の思いに寄り添いながら、学校を支援していく。



雨の中、街頭から議会報告を行う